

位置 づけ	総合計画	まちづくりの目標	まちづくりの目標 5【産業政策】産業がつながり活力があるまち
		施策分野	5-3 観光
	根拠法令・個別計画等	観光立国推進基本法、丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考	
実施（ＤＯ）コスト	歳出	総事業費 A + B		138,985	127,536	0	0	0	0		
		直接事業費 A		111,076	99,627	0	0	0	0		
		総人件費計（E + H）B		27,909	27,909	0	0	0	0		
		職員従事者数（人・年）C		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】D		8,190	8,190	0	0	0	0		
		人件費 E = C × D		24,570	24,570	0	0	0	0		
		会計年度任用職員従事者数（人・年）F		0.90	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】G		3,710	3,710	0	0	0	0		
	人件費 H = F × G		3,339	3,339	0	0	0	0			
	歳入	特定財源		67,640	12,256	0	0	0	0		
		国支出金		22,369	12,235	0	0	0	0		
		県支出金		1,650	0	0	0	0	0		
		借入金（地方債）		0	0	0	0	0	0		
		その他特財		43,621	21	0	0	0	0		
一般財源		71,345	115,280	0	0	0	0				
実施（ＤＯ）指標	指標名		単位	目標 実績	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考
	成果	観光ホームページ、SNSの総レビュー件数 (SATURDAYTAMB A)	件	目標	400,000	450,000	500,000	550,000	600,000	650,000	
				実績	740,778						
	成果	道の駅「丹波おばあちゃんの里」道の駅「あおがき」入込客数	人	目標	500,000	500,000	550,000	600,000	650,000	700,000	R8道の駅「あおがき」リニューアル工事予定
				実績	529,574						
	活動	観光PRイベントブース出展回数	回	目標	10.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
				実績	18.0						
	指標の推移等の背景・分析				・万博誘客促進事業に伴う観光PRイベントの出展、丹波市観光アンバサダー及びサポーターのSNSによるPR等により、Instagramの観光課アカウント総レビュー件数が倍増した。 ・道の駅丹波おばあちゃんの里入込客数は、リニューアルオープン効果もあり令和4年度以降順調に増加している。令和7年度は全国道の駅シンポジウム開催の影響も、増加の要因となった。						

事務事業名	観光振興事業		
事業担当課	産業経済部 商工観光課	事業期間	平成 18 ～ 無期 年度

評価 (CHECK)	事務事業全体の実施（ＤＯ）に対する、事務事業の展開の評価・課題について		
	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	本市の魅力発信により市の認知度を向上させるとともに、誘客及び周遊促進と地域内消費の増加により、地域活性化につなげるために重要な事業である。
	(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	・情報発信では、SATURDAYTAMBAのHP及びInstagramによる周知を行っており、フォロワー数や閲覧数が着実に増加している。特に観光アンパサダーの影響によるプロモーション効果が顕著であり、一部の期間では数値が大幅に上がっている。 ・デジタルマップの利用数も一定数あり、引き続きデジタルマップを活用した周遊促進を図っていく。 ・周遊バス補助の利用効果もあり、道の駅丹波おばあちゃんの里を行程に入れた市内周遊も増加している。
	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・デジタルマップの運用や情報発信、誘客施策の実施により一定の成果は見られるものの、委託費やプロモーション経費の増加により、事業全体のコストは増加傾向にある。

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
大阪・関西万博を契機とした誘客促進事業をはじめ、市内周遊バス補助金や、観光協会のイベント補助金の実績が増加していることから、これらの事業による市内誘客及び周遊促進ができています。また、丹波市観光アンパサダーやサポーターのSNS等で丹波市をPRすることで、丹波市の認知度向上及び、そのSNSを見て丹波市に来訪され特産品を購入される動きがあることを実感する。

【課題】
・特定拠点への来訪集中により、市内他地域への周遊が十分に促進されておらず、観光消費の広域的な波及や混雑緩和の観点からも課題が生じている。
・今後は単純な入込客数の増加をめざすのではなく、来訪時期・エリアの分散化や滞在時間の延伸、消費単価の向上といった「質」の観光への転換が求められている。

今後の方向性・改善策等（今後１～３年を想定）

成果・コストの方向性（今後１～３年を想定）

【今後の方向性】
・観光入込客数の単純増ではなく、滞在時間の延伸や消費単価の向上を重視した「質の高い観光」への転換を図る。

【改善策】
・地域事業者と連携し、周遊インセンティブ（スタンプラリー、クーポン等）を強化するとともに、今後見込まれるホテル開業による宿泊者の増加を活かし、来訪者の滞在時間の延伸及び観光消費額の向上を図る。
・秋季以外の魅力（食・体験・自然等）を活かした誘客コンテンツを開発・発信し、閑散期の底上げを図る。

成果の方向性

	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				✓
現状維持				
縮小				
休廃止				

コストの方向性

●外部評価【 】年度実施

指摘事項など		対応状況	
--------	--	------	--

位置 づけ	総合計画	まちづくりの目標	まちづくりの目標 5【産業政策】産業がつながり活力があるまち
		施策分野	5-3 観光
	根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

コスト(単位：千円) (評価年度は実績、計画年度は予算)				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考	
実施 (D O) コスト	歳出	総事業費 A + B		20,715	31,078	0	0	0	0		
		直接事業費 A		13,050	23,413	0	0	0	0		
		総人件費計 (E + H) B		7,665	7,665	0	0	0	0		
		職員従事者数 (人・年) C		0.80	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】D		8,190	8,190	0	0	0	0		
		人件費 E = C × D		6,552	6,552	0	0	0	0		
		会計年度任用職員従事者数 (人・年) F		0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】G		3,710	3,710	0	0	0	0		
	人件費 H = F × G		1,113	1,113	0	0	0	0			
	歳入	特定財源		4,612	14,288	0	0	0	0		
		国支出金		0	0	0	0	0	0		
		県支出金		0	0	0	0	0	0		
		借入金 (地方債)		4,500	14,200	0	0	0	0		
		その他特財		112	88	0	0	0	0		
一般財源		16,103	16,790	0	0	0	0				
実施 (D O) 指標	指標名		単位	目標 実績	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考
	成果	トラブル対応件数	件	目標	0	0	0	0	0	0	
				実績	6						
	コスト	1施設当たりコスト (工事請負費を除く)	千円	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
				実績	2,596						
指標の推移等の背景・分析			・トラブル対応（修繕対応）件数は、目標値0件に対し、6件発生している。 ・コスト面においては、管理委託における昨今の人件費の上昇や燃料費等の高騰が影響している。								

事務事業名	公園管理事業		
事業担当課	産業経済部 商工観光課	事業期間	平成 18 ～ 無期 年度

評価 (CHECK)	事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について		
	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・公園は、市内外を問わず、全ての利用者の憩いの場であり、特に子育て世代等を応援するまちづくりを推進する上で必要な事業である。
	(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	施設の維持管理や修繕を行うことで、利用者が安全安心に利用できる環境を整えている。
改革 (ACTION)	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・維持管理業務を委託しているが、昨今の人件費の上昇や燃料費の高騰により、委託料が増加傾向にあることから、コスト削減は困難である。

改革 (ACTION)	総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）				
	【評価】 ・施設の修繕に加え、令和7年度には公園の外灯を更新するなど、利用者にとって安全安心に利用できる環境整備を行った。 ・川代公園の利用に関して、ネットによる受付としたことで、担当者の事務軽減につながっている。 【課題】 ・施設の安全性や利便性向上に向けた計画的な修繕等の実施。 ・他の公園についても、川代公園と同様にネット受付を検討するなど、さらなる事務負担の軽減を行う。				
	今後の方向性・改善策等（今後1～3年を想定）		成果・コストの方向性（今後1～3年を想定）		
	【今後の方向性】 ・施設及び設備等の状況を把握し、老朽化していく施設や設備の改修計画を策定するなど、利用者の安全性の確保に努める。 ・事務手続きについて検討を行い、利用者の利便性向上と事務負担の軽減を図る。		成果の方向性	コストの方向性	

		皆減	縮小	現状維持	拡大
拡大					
現状維持				✓	
縮小					
休廃止					

●外部評価【 】年度実施

指摘事項など		対応状況	
--------	--	------	--

位置 づけ	総合計画	まちづくりの目標	まちづくりの目標 5【産業政策】産業がつながり活力があるまち
		施策分野	5-3 観光
	根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考	
実施（ＤＯ）コスト	歳出	総事業費 A + B		8,674	9,421	0	0	0	0		
		直接事業費 A		4,208	4,955	0	0	0	0		
		総人件費計（E + H）B		4,466	4,466	0	0	0	0		
		職員従事者数（人・年）C		0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】D		8,190	8,190	0	0	0	0		
		人件費 E = C × D		4,095	4,095	0	0	0	0		
		会計年度任用職員従事者数（人・年）F		0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】G		3,710	3,710	0	0	0	0		
		人件費 H = F × G		371	371	0	0	0	0		
	歳入	特定財源		219	221	0	0	0	0		
		国支出金		0		0	0	0	0		
		県支出金		206	206	0	0	0	0		
		借入金（地方債）		0	0	0	0	0	0		
		その他特財		13	15	0	0	0	0		
一般財源		8,455	9,200	0	0	0	0				
実施（ＤＯ）指標	指標名		単位	目標 実績	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考
	成果	トラブル対応件数	件	目標	0	0	0	0	0	0	
				実績	24						
	活動	公衆トイレ清掃回数	回	目標	795	795	795	795	795	795	
				実績	801						
	コスト	1施設当たりコスト （工事請負費を除く）	千円	目標	800	800	800	800	800	800	
				実績	868						
	指標の推移等の背景・分析			・トラブル対応（修繕対応）件数は、目標値0件に対し、24件発生している。 ・1施設当たりのコストについて、施設の老朽化に伴う修繕対応を実施したことにより、前年度より増加している。							

事務事業名	公衆トイレ維持管理事業		
事業担当課	産業経済部 商工観光課	事業期間	平成 18 ～ 無期 年度

評価 (CHECK)	事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について		
	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・公衆トイレは、イベント時や紅葉等の繁忙期において利用者が多く、市民・観光客双方にとって必要な施設である。
	(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	施設の維持管理や修繕を行うことで、利用者が安全安心に利用できる環境を整えている。
改革 (ACTION)	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・施設の老朽化に伴い、修繕対応等を含め、適切な維持管理を行うためには、同程度のコストは必要である。

改革 (ACTION)	総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）				
	【評価】 ・公衆トイレにおいて、トラブル発生時に迅速な対応ができており、利用者が安全安心に利用できる環境を整えている。 【課題】 ・公衆トイレとして適切な維持管理を実施しているが、利用者の快適性向上に向けて観光トイレとしての機能について検討が必要である。				
	今後の方向性・改善策等（今後1～3年を想定）		成果・コストの方向性（今後1～3年を想定）		
	【今後の方向性】 ・観光トイレとしての機能向上について検討を行う。 ・施設及び設備の状況を把握し、老朽化していく施設の改修計画を策定するなど、利用者の安全性や利便性の確保に務める。		成果の方向性	コストの方向性	

		皆減	縮小	現状維持	拡大
拡大					
現状維持				✓	
縮小					
休廃止					

●外部評価【 】年度実施

指摘事項など		対応状況	
--------	--	------	--

令和 7 年度 事務事業評価シート

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業									
事業担当課	産業経済部 商工観光課					事業期間		平成 18 ～ 無期 年度		
	所属長	福田 貴之			担当	村上 貴尉		担当	細見 成一	

位置 づけ	総合計画	まちづくりの目標	まちづくりの目標 5【産業政策】産業がつながり活力があるまち
		施策分野	5-3 観光
	根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン、指定管理者制度運用ガイドライン	

計画 (PLAN)	事業	対象（誰を、何を）	指定管理者に指定された団体及び施設利用者
		目的 ベストな状態 （期待される効果） ※上記載の対象が主語	・民間事業者である指定管理者のノウハウや創意工夫により、施設の健全な経営が図られている。 ・利用者の満足度の向上により、さらに利用者が増加していくとともに、地域との連携が図られ、地域経済が活性化している。
		概要 （具体的手段・全体計画）	・指定管理者導入施設（丹波悠遊の森、旧氷上高等小学校校舎、ウッディブラザ山の駅、丹波いづく茶屋、今出川親水公園、漢方の里総合運動公園[前葉草薬樹公園]、大杉ダム自然公園）の健全運営に対する支援 ・施設の躯体にかかる計画的な改修工事及び修繕の実施 ・市内指定管理施設や他施設との連携の実施 ※丹波市立葉草薬樹公園条例は、令和7年3月31日で廃止のうえ、同年4月1日から丹波市都市公園条例に包含。（漢方の里総合運動公園）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考	
実施（ＤＯ）コスト	歳出	総事業費 A + B		231,078	102,596	0	0	0	0		
		直接事業費A		214,929	86,447	0	0	0	0		
		総人件費計（E + H）B		16,149	16,149	0	0	0	0		
		職員従事者数（人・年）C		1.70	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】D		8,190	8,190	0	0	0	0		
		人件費 E = C × D		13,923	13,923	0	0	0	0		
		会計年度任用職員従事者数（人・年）F		0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00		
		【平均人件費】G		3,710	3,710	0	0	0	0		
	人件費 H = F × G		2,226	2,226	0	0	0	0			
	歳入	特定財源		137,300	6,432	0	0	0	0		
		国支出金		0	0	0	0	0	0		
		県支出金		0	0	0	0	0	0		
		借入金（地方債）		135,300	0	0	0	0	0		
		その他特財		2,000	6,432	0	0	0	0		
一般財源		93,778	96,164	0	0	0	0				
実施（ＤＯ）指標	指標名		単位	目標 実績	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備 考
	成果	施設利用者数	人	目標	198,000	201,600	205,200	208,800	212,400	216,000	目標 令和2年度 （180,000人）を ベースに毎年度2％
				実績	102,641						
	成果	指定管理料無料施設数	箇所	目標	7	7	7	7	7	7	
				実績	2						
	コスト	1施設当たりコスト	千円	目標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	
				実績	16,293						
	指標の推移等の背景・分析				・利用者数は、昨年度から26,260人の大幅な減少になった。漢方の里総合運動公園において、機械設備更新工事に伴う4か月の休業が発生したことに加え、近年の猛暑等の影響により、キャンプ施設（大杉ダム自然公園、丹波悠遊の森）の利用者が減少傾向にある。 ・1施設当たりコストは、施設の大規模改修工事や遊休施設の解体に向けた実施設計業務を行ったことなどにより、増加している。						

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業		
事業担当課	産業経済部 商工観光課	事業期間	平成 18 ～ 無期 年度

評価 (CHECK)	事務事業全体の実施（ＤＯ）に対する、事務事業の展開の評価・課題について		
	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・各施設の条例において指定管理者に行わせることとなっており、市民の福祉の向上や観光振興等を目的とした公の施設であるため、必要な事業である。
	(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	・令和 7 年度は漢方の里総合運動公園における機械設備更新工事に伴う 4 か月の休業に加え、気温や天候に左右される施設もあり、利用者数が減少となっているものの、各指定管理者により施設の適切な管理運営が実施されている。
改革 (ACTION)	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・各施設は、指定管理者による管理運営を行っており、業態や施設規模で異なるものの、共通して人件費の上昇や物価高騰が続く中、サービス水準を維持するためには、同程度のコストは必要である。

改革 (ACTION)	総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）				
	【評価】 ・指定管理者により適切な管理運営が実施できている。 ・指定管理者同士の連携会議を開催し、情報共有等が図れている。 【課題】 ・施設の長寿命化に向けた計画的な施設改修を実施する。 ・さらなる指定管理者同士の連携強化を行い、市内周遊の促進と指定管理施設の安定経営を図る。 ・施設の所管替えによる効果効率の最大化を図る。（漢方の里総合運動公園、旧丹波少年自然の家等）				
	今後の方向性・改善策等（今後 1 ～ 3 年を想定）		成果・コストの方向性（今後 1 ～ 3 年を想定）		
	【今後の方向性】 ・適切な施設の改修計画を検討する。 ・指定管理者同士の連携強化に向けた連携会議を実施する。 ・所管替えに伴う関係機関との十分な調整を行う。		成果の方向性	コストの方向性	

●外部評価【 】年度実施

指摘事項など		対応状況	
--------	--	------	--